

2023年3月期 第3四半期

決算補足説明資料



当社グループの事業

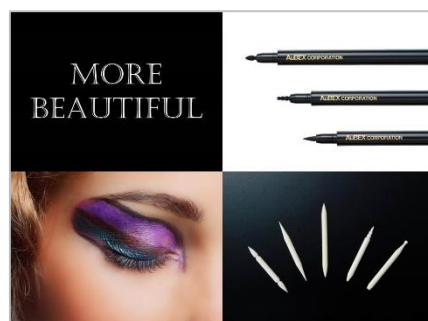
当社グループは、2つのセグメントで事業活動を行っています。

テクノ製品事業

サインペン先、マーキング用ペン先などの筆記具関連、アイライナー用ペン先、ネイルケア用ペン先などのコスメチック関連を主力製品として、その他スタイラス用ペン先などのPC周辺関連をはじめ、芳香剤用芯などを取り扱っております。



ステーショナリー



コスメチック



スタイラスペン




医療機器


メディカル製品事業


自社開発の流量制御チューブを採用した薬液注入器(ベセルフューザー)や安全性と利便性を追求した親水性ガイドワイヤーを主力製品として、その他に医療用部材を取り扱っております。

連結業績

売上高 **3,965**百万円 (前年同期比 2.7%減) 

営業利益 **506**百万円 (前年同期比 9.2%減) 

経常利益 **519**百万円 (前年同期比 7.7%減) 

四半期純利益 **365**百万円 (前年同期比 7.5%減) 

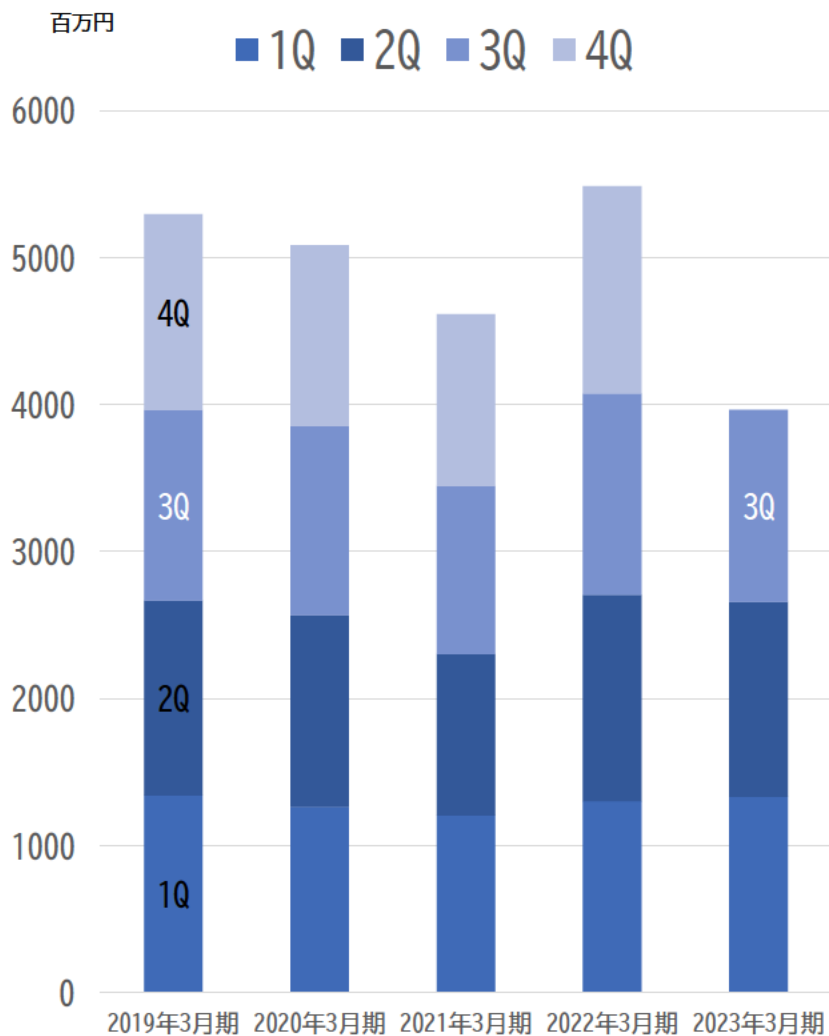
- ・売上高は、テクノ製品事業の売上がやや下振れし、2.7%減の3,965百万円。
- ・営業利益は、原材料費や物流コストなどの増加により、9.2%減の506百万円。
- ・経常利益は、営業利益の減少により、7.7%減の519百万円。
- ・営業利益率は、前年同期比で0.9ポイント減少し、12.8%。

2023年3月期 第3四半期累計期間業績

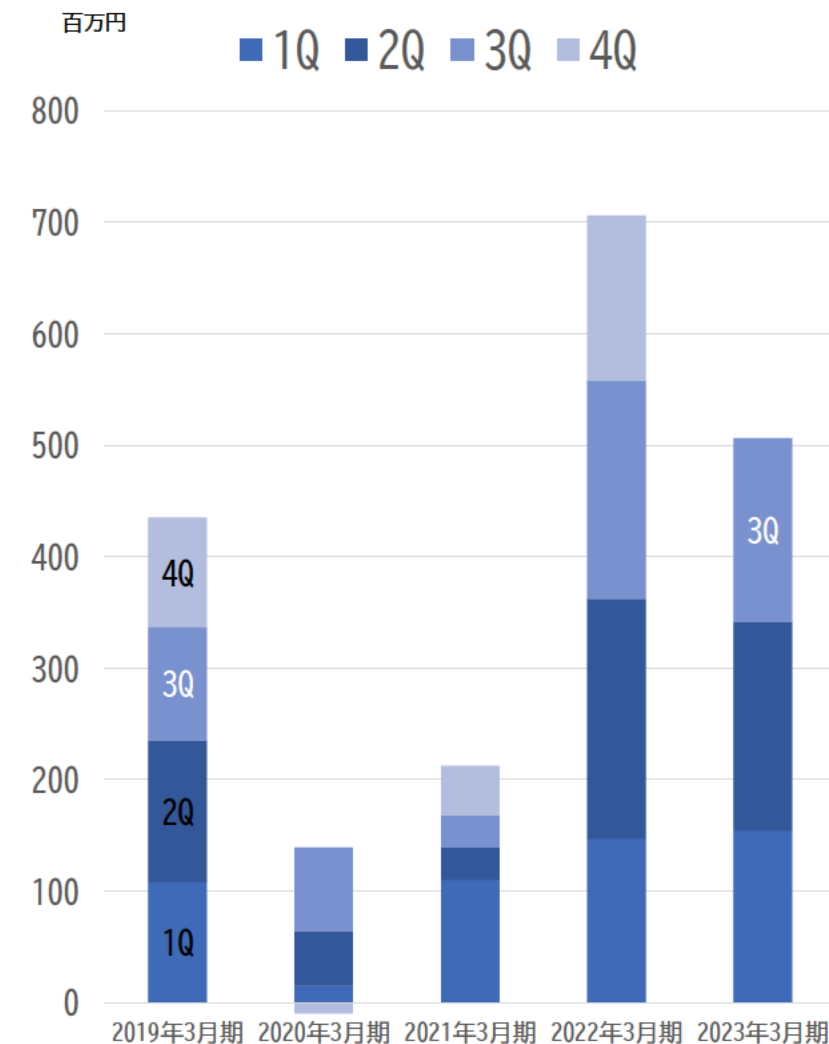
(百万円)	2022年3月期 3 Q	2023年3月期 3 Q	前年同期比	業績予想 (通期)	通期予想に 対する進捗率
売上高	4,075	3,965	97.3%	5,500	72.1%
営業利益	558	506	90.8%	650	77.8%
営業利益率	13.7%	12.8%	—	11.8%	—
経常利益	562	519	92.3%	630	82.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	394	365	92.5%	520	70.2%

売上高・営業利益推移（連結）

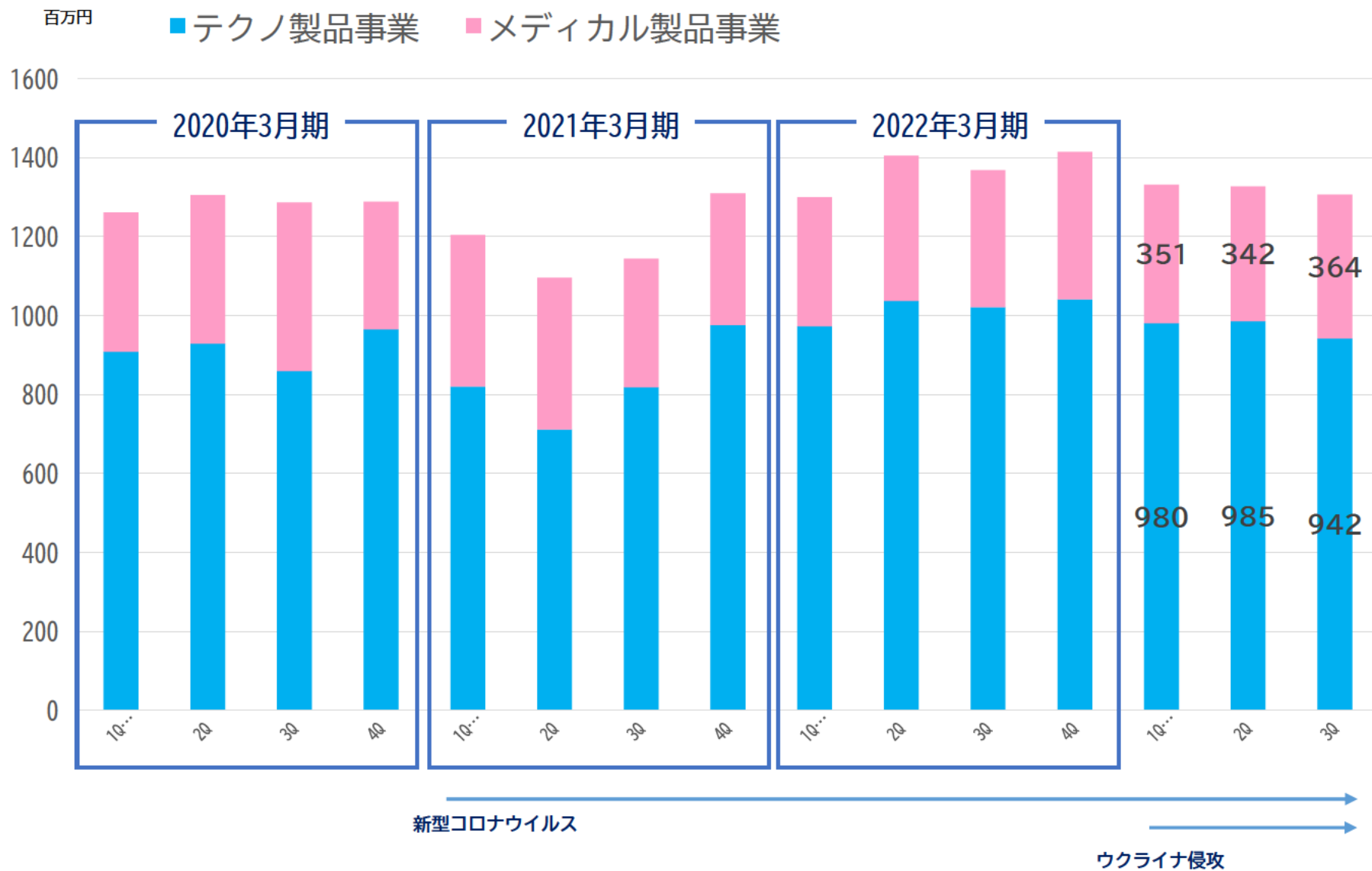
四半期別売上高推移





四半期別営業利益推移



四半期売上高推移（セグメント）



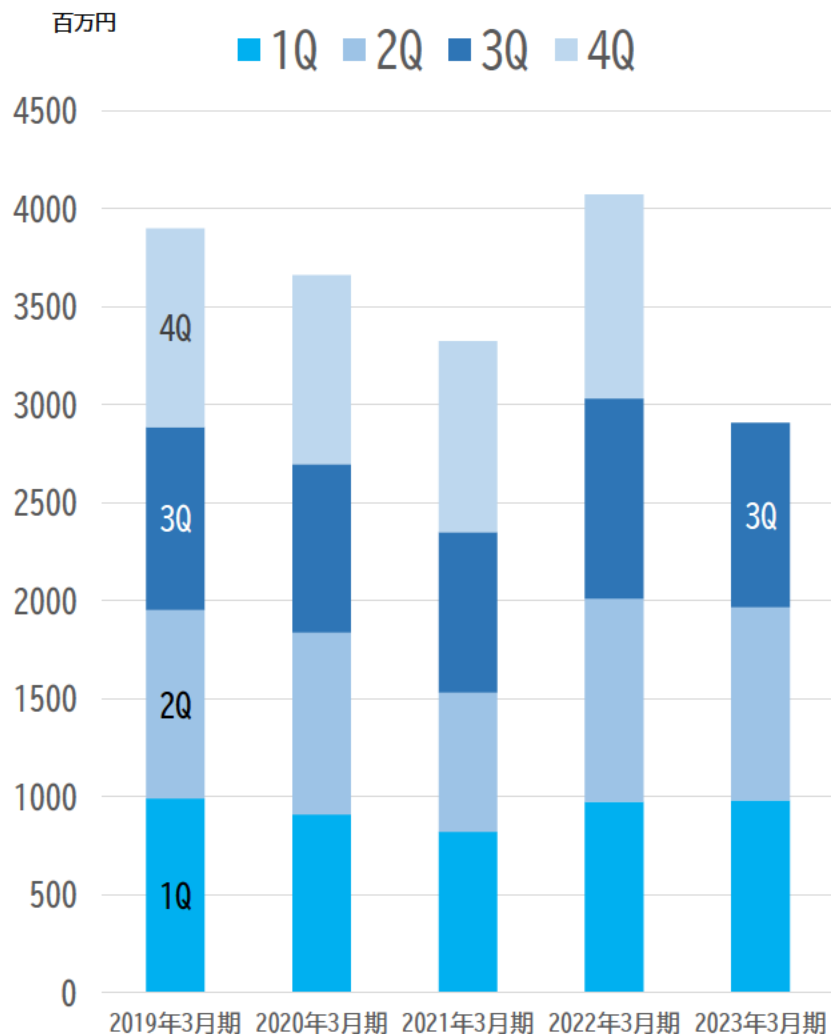
テクノ 製品事業

売上高	2,907 百万円（前年同期比 4.1%減）	
セグメント利益	668 百万円（前年同期比 2.9%減）	
セグメント利益率	23.0 %（前年同期比 0.3ポイント増）	

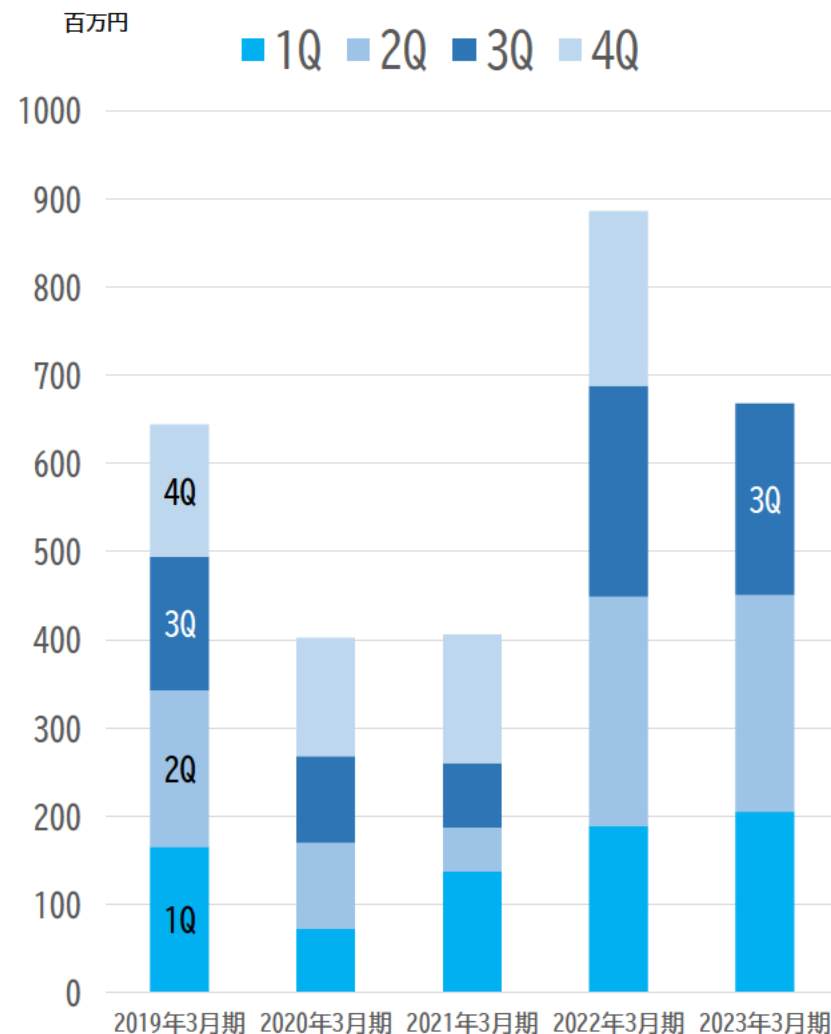
- ・売上高は、アジア及び中南米地域が堅調に推移したものの、国内及び欧州地域が伸び悩み、前年同期比4.1%減の2,907百万円。
- ・セグメント利益は、高付加価値製品が堅調に推移したものの、売上減少に伴い、前年同期比2.9%減の668百万円。

テクノ製品事業 四半期別売上高・セグメント利益推移

四半期別売上高推移





四半期別セグメント利益推移



セグメント別業績

メディカル 製品事業

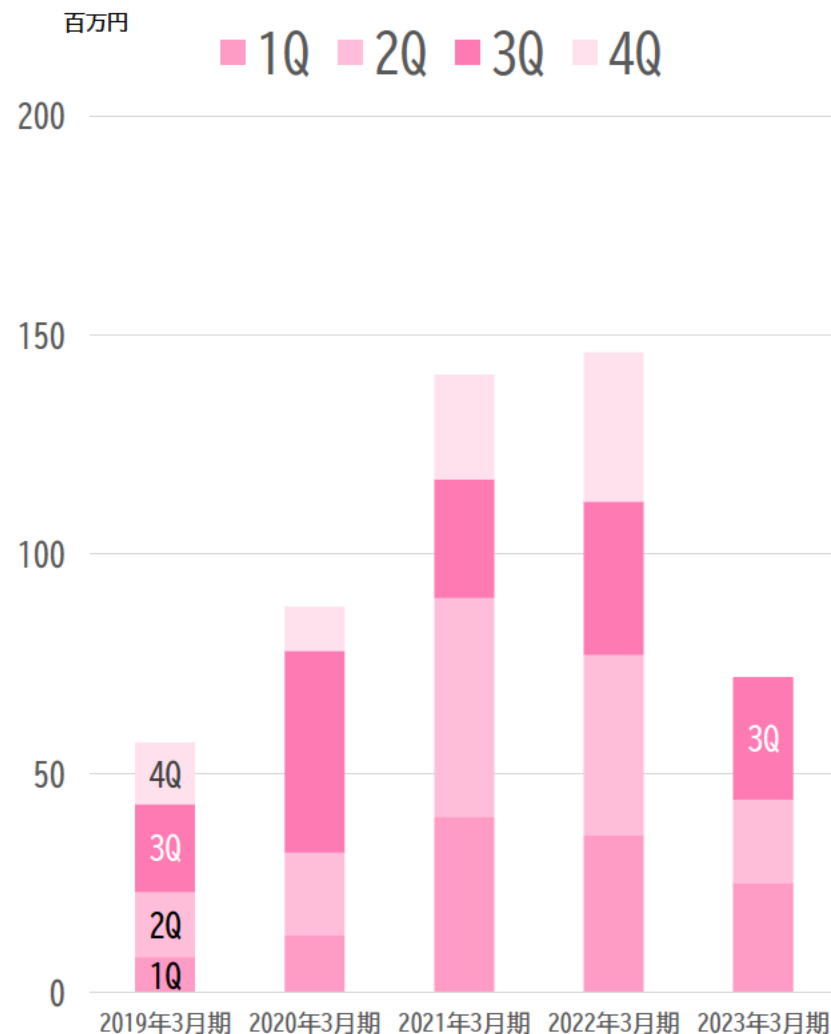
売上高	1,057 百万円（前年同期比 1.4%増）	
セグメント利益	72 百万円（前年同期比 35.2%減）	
セグメント利益率	6.9 %（前年同期比 3.9ポイント減）	

- ・売上高は、コロナ禍の影響が継続する中、ベセルフューザー及びガイドワイヤーの売上が堅調に推移した結果、前年同期比1.4%増の1,057百万円。
- ・セグメント利益は償還価格の改定や部材コスト高騰などの影響を受け、前年同期比 35.2%減の72百万円。

四半期別売上高推移



四半期別セグメント利益推移



参考情報

連結損益計算書

(百万円)	2022年3月期 3 Q	2023年3月期 3 Q	前年同期比
売上高	4,075	3,965	97.3%
売上原価	2,596	2,516	96.9%
売上総利益	1,478	1,448	98.0%
販売費及び一般管理費	920	942	102.4%
営業利益	558	506	90.8%
(営業利益率)	13.7%	12.8%	—
経常利益	562	519	92.3%
税金等調整前四半期純利益	562	561	99.8%
法人税等合計	167	196	116.8%
四半期純利益	394	365	92.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	394	365	92.5%

連結貸借対照表

(百万円)	2022年3月末	2022年12月末	増減額
流動資産	5,854	6,065	+211
固定資産	3,586	3,399	△187
資産合計	9,441	9,464	+23
流動負債	2,314	1,961	△353
固定負債	1,710	1,792	+82
負債合計	4,024	3,753	△271
純資産	5,416	5,711	+295
負債・純資産合計	9,441	9,464	+23

真心をこめて、暮らしに欠かせない文化と科学を提案することにより、
豊かな社会づくりに貢献できる企業を目指します。

人と社会に正しい貢献を。

いつの時代も、可能性をあきらめず、まっすぐに。

「より役立つもの、より優れたもの」を。

モノづくりを通じて拡がる未来へ。

オーバクスビジョン2024

基本方針

新市場（スタンダード市場）において
持続的成長と企業価値向上を具現化する

スローガン

「 Change + Update “チェンジ プラス アップデート” 」

最終年度 定量目標（連結）

3ヶ年合計

売上高

62億円

営業利益

8.3億円

設備投資

10億円

サステナビリティへの取組

当社の創業者である渋沢栄一翁の経営哲学「道德経済合一説」（仁義道德と生産殖利とは元来ともに進むべきもの）は、持続可能な社会を目指すものであります。その精神を受継ぐ当社は、「真心をこめて、暮らしに欠かせない文化と科学を提案することにより、豊かな社会づくりに貢献できる企業を目指します。」を経営理念に掲げ、「オーバクスグループ行動規範」を定めるとともにリスクマネジメント方針をはじめとする各方針を策定しております。環境問題、社会的課題への対応を経営課題の重要事項のひとつと位置付け、ESG経営を推進することで持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

環境 Environment

大気汚染対策 廃棄物対策
環境に配慮した製品開発



社会 Social

働き甲斐のある職場環境 人財育成
人権の尊重 地域社会への貢献



ガバナンス Governance

コンプライアンス（法令と社会規範の遵守）
積極的な情報開示 リスク管理



配当方針

利益配分に関しましては、株主の皆様への利益還元を最重要課題の一つと考えており、将来に向けた研究・開発、設備投資等を行うための内部留保の充実を図りつつ、中長期的視野に立って収益に対応した安定配当を行うことを基本方針としております。

配当実績・予想

		134期 2019年3月期	135期 2020年3月期	136期 2021年3月期	137期 2022年3月期	138期 (予想) 2023年3月期
1株当たり 当期純利益 (連結)	円	115.17	50.89	41.60	194.04	187.90
1株当たり 配当額	円	15	15	15	25 記念配当 10円含む	20

商号	オーベクス株式会社
本店	東京都墨田区両国4-31-11
創立	1892年（明治25年）12月12日
資本金	19億3,983万円
代表者	代表取締役社長 栗原 則義
事業所	コアセンター（千葉工場） 千葉県白井市河原子265 千葉ニューテックセンター 千葉県印西市鹿黒南1-7
連結子会社	オーベクステクノロジー株式会社 オーベクスメディカル株式会社 天津奥貝庫斯技研有限公司

本資料のお取り扱い上の注意

本資料に記載された見解や見通し、ならびに予測等は資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。

様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。また、本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。